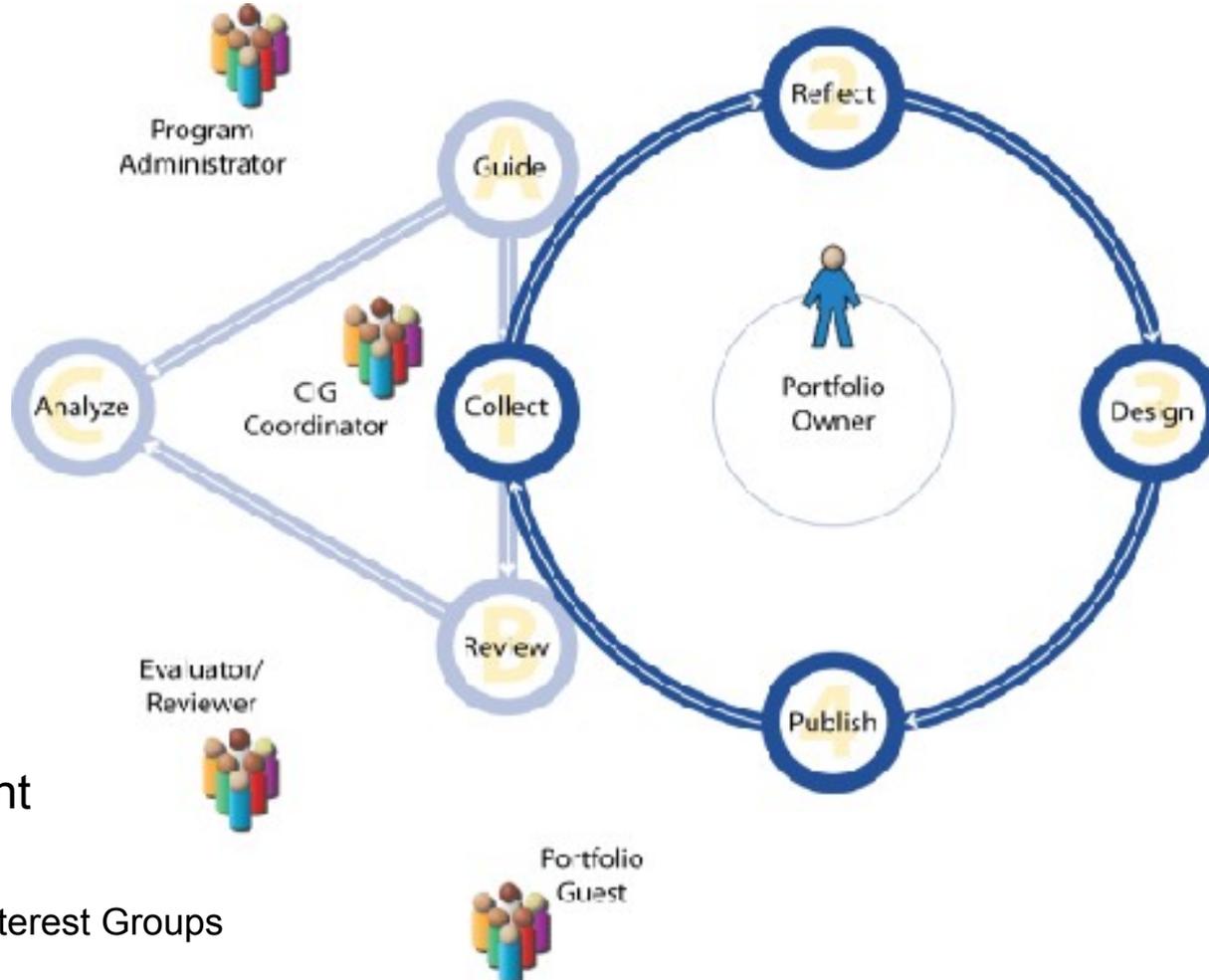


第73回 Sakai OSPで作るポートフォリオ

- Sakai上で自由度の高いeポートフォリオシステムを実現できる！
 - ルーブリック、リフレクション、相互コメント、ショーケース
 - アカウント管理、アクセス制限、ツールの連携が可能
 - OSPの登場人物
 - 教授システム学専攻ポートフォリオ (WebCTとの連携も独自に実装)
 - ワークスペースとショーケース
 - コンピテンシーマトリックス
 - 最終試験ポートフォリオ
- XMLをベースにした技術的なハードルはとっても高い
 - XMLスキーマでの定義による入力フォーム作成
 - XSLTスタイルシートによるポートフォリオWebページ作成
 - 各種開発ツールを駆使した開発

<http://confluence.sakaiproject.org/display/CONF10/Wednesday+--+Building+Your+First+OSP+Template>

OSPの登場人物



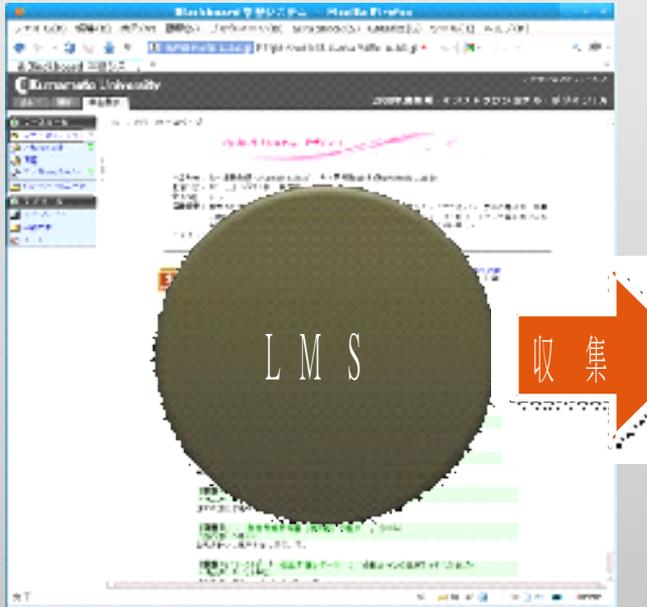
CIG
Coordinator
CIG Participant
Evaluator
Reviewer
CIG: Common Interest Groups

<http://confluence.sakaiproject.org/download/attachments/23691653/OSP.mp4?version=1>



eポートフォリオシステム全体像

WebCT CE6



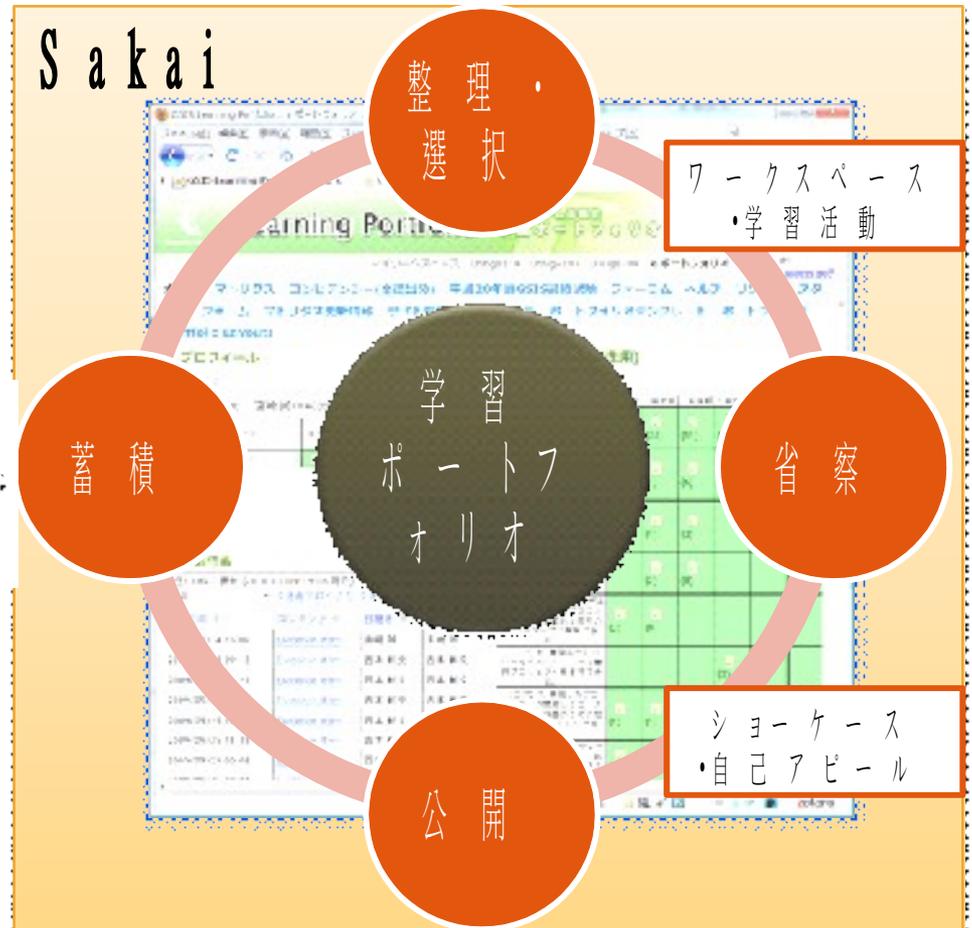
LMS

収集

課題
・提出したファイル
・コメント(学生、教員)
・採点結果

ディスカッション
・提出したファイル
・コメント(学生、教員)

Sakai



整理・選択

ワークスペース
・学習活動

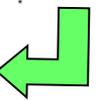
蓄積

学習
ポート
フォリオ

省察

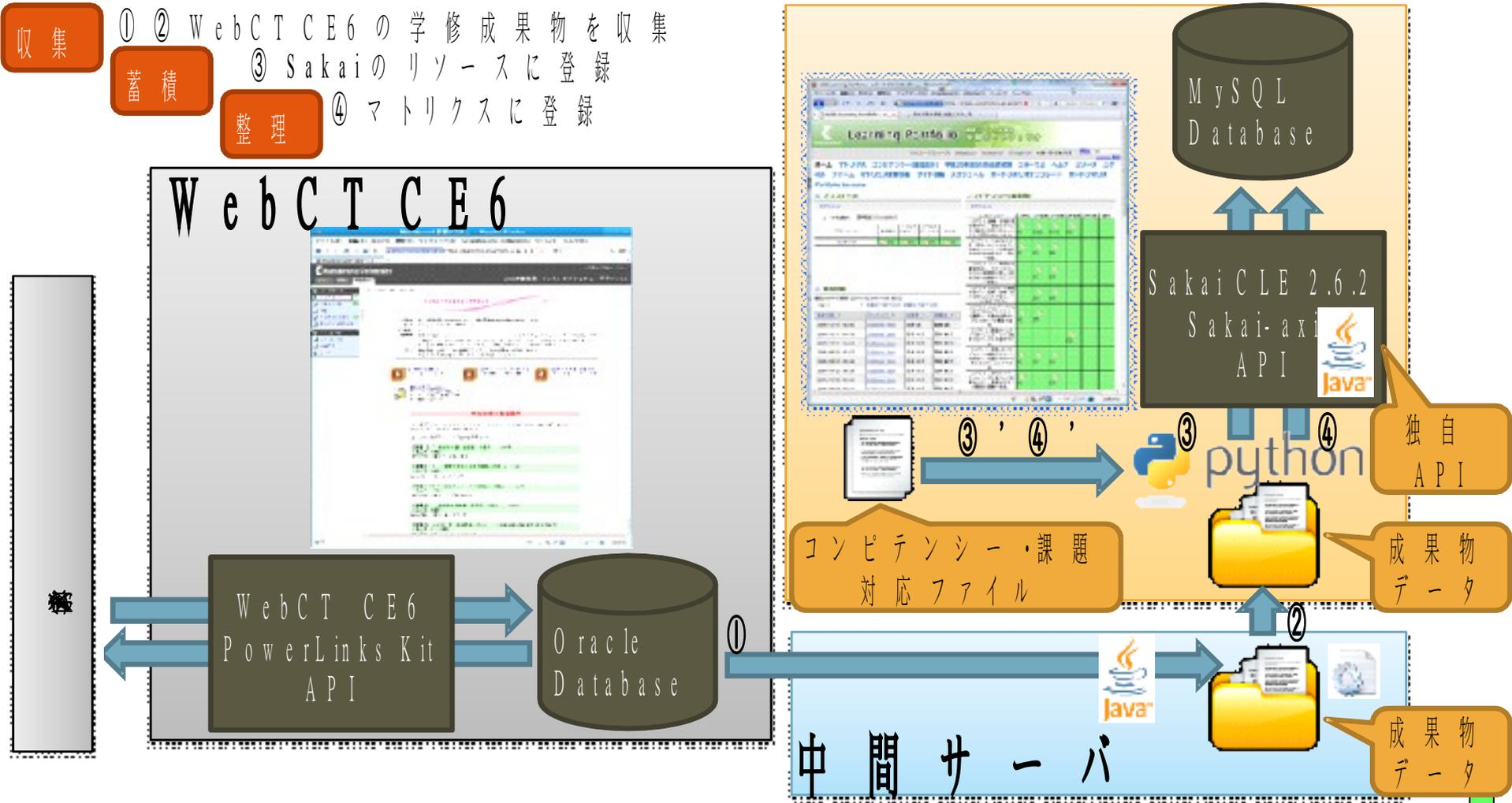
公開

ショーケース
・自己アピール



WebCT との連携 (独自開発)

- ① ② WebCT CE6 の学修成果物を収集
蓄積
③ Sakai のリソースに登録
整理
④ マトリクスに登録



Sakai-Axis によるWebサービス

WSDLをサポートしたSOAPによるWebサービスフレームワーク
sakai.properties に `webservice.allowlogin=true` を設定

デフォルトで実装されているWebサービス

```
$TOMCAT_HOME/webapp/sakai-axis/
```

```
$SAKAI_SRC/webservices/axis/src/webapp/
```

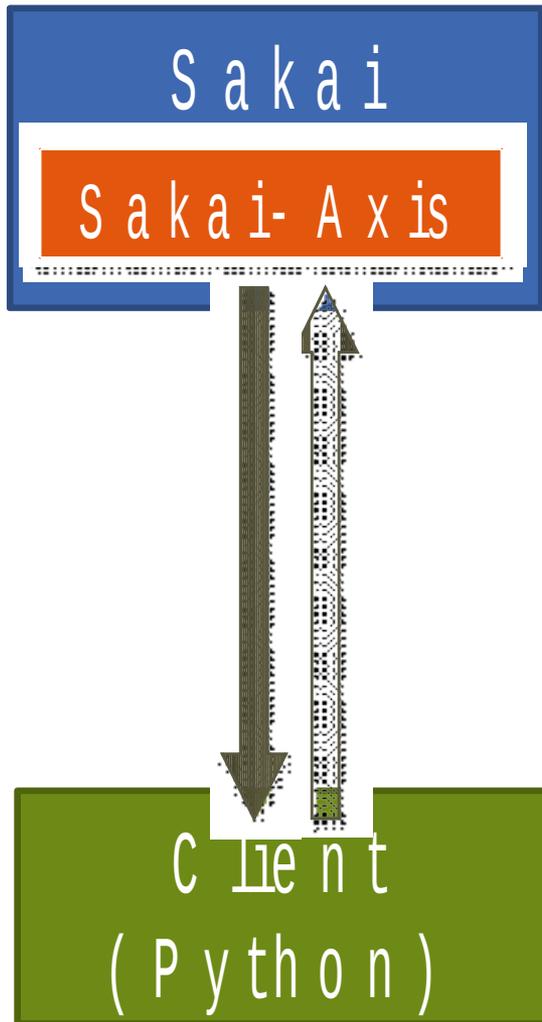
クライアントサンプル

```
$SAKAI_SRC/webservices/axis/test/sakaiscript
```

ユーザ、コースの作成・削除・変更
ツールの追加・削除・変更
ユーザの参加するサイトの設定などが可能



SOAPを使ってデータのやり取りを行う



- ◆ リソースを操作・管理するWebサービスを作成
`org.sakaiproject.content.cover.ContentHostingService`
- ◆ マトリクスを操作・管理するWebサービスを作成
`org.theospi.portfolio.matrix.MatrixManager`
- ◆ 学生それぞれの学習成果物をSakaiのリソースに登録
- ◆ リソースの学習成果物をコンピテンシーに基づいてマトリクス上にマッピング



ワークスペースとショーケース

利用する目的

ワークスペース

学習成果物を蓄積し、それを活用した学びの**振り返り**を行う。インストラクターや他の学生からのフィードバックによる学習の深化等に**利用**

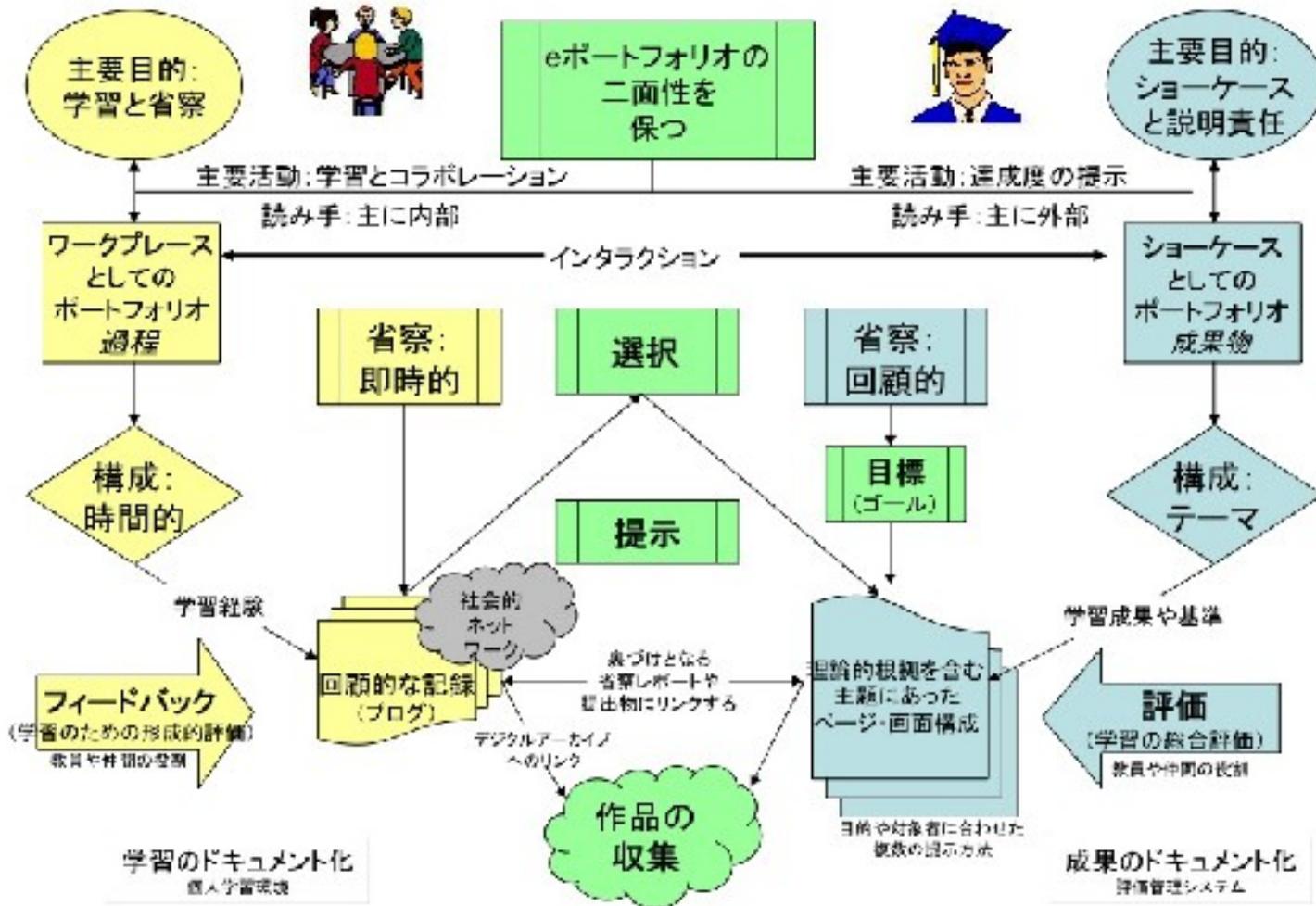


ショーケース

学生が学習の成果を**自己アピール**するための作品として、誰かに見せること（**公開すること**）を前提に作成する



ワークスペースとショーケース



教授システム学専攻最終試験ポートフォリオ

□ 最終試験

- レポート形式とし、コンピテンシーの達成度を自己評価し、その証拠となる作品等を紹介する。要約文をまとめたものとする。長さには制限はないが、簡潔であることを求める。(学生へのアナウンスメールより)

□ レポートの作成は3STEP

STEP 1: 選択

STEP 2: 省察

STEP 3: 公開

予め登録されている
成果物の中から選択

コンピテンシーの
達成度を自己評価
(高度・中程度・最低限・未達成)

自己評価の
理由を記述

The screenshot shows a web browser displaying a portfolio page. At the top, there's a navigation bar with 'ポートフォリオ' (Portfolio) highlighted. Below it, a section titled 'コアコンピテンシー自己評価' (Core Competency Self-Evaluation) features a radar chart with five axes labeled 'SF1' through 'SF5'. To the right is a 'プロフィール' (Profile) section with a cartoon avatar and text. A QR code is visible in the bottom right of the profile section. The browser's address bar shows 'http://gss.kumamoto-u.ac.jp/pf/'.



Portfoliosツール

◆Portfoliosツール(テンプレート)

リソースやフォーム、マトリックスなどのデータを使って、自動的にWebページを生成可能

Portfolios

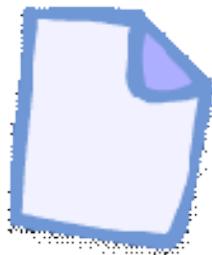
Portfolio Templates

Matrices

Wizards

Forms

Resources



XML



XSLスタイルシート

変換



HTML



ブラウザ



Portfoliosツール

◆利用するための準備

- Formsツール…入力フォームを作成
- Portfolio Templatesツール…XSLスタイルシートを作成

◆使用したツール

- <oXygen/> XML Editor
- XSD Weaver

University of Central Florida が公開。

Contribツール

<http://trident.cdws.ucf.edu/xsdweaver/>



入力フォーム(XSD)の例

```
-<xs:schema elementFormDefault='qualified'>
  -<xs:element name='reflection'>
    -<xs:complexType>
      -<xs:sequence>
        -<xs:element name='reflectiondate'>
          -<xs:annotation>
            <xs:documentation source='ospi.label' xml:lang='ja'> 日付 </xs:documentation>
            <xs:documentation source='ospi.description' xml:lang='ja'>カレンダーを使用して入力欄に日付をセットします </xs:documentation>
          </xs:annotation>
          -<xs:simpleType>
            <xs:restriction base='xs:date'> </xs:restriction>
          </xs:simpleType>
        </xs:element>
        -<xs:element name='comment' minOccurs='1'>
          -<xs:annotation>
            <xs:documentation source='ospi.label' xml:lang='ja'> コメント</xs:documentation>
            <xs:documentation source='ospi.description' xml:lang='ja' />
            <xs:documentation source='ospi.inlinedescription' xml:lang='ja' />
            <xs:documentation source='ospi.isRichText'>true </xs:documentation>
          </xs:annotation>
          -<xs:simpleType>
            -<xs:restriction base='xs:string'>
              <xs:maxLength value='10000' />
            </xs:restriction>
          </xs:simpleType>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
    </xs:complexType>
  </xs:element>
</xs:schema>
```

